

平成 16 年度東京湾調査結果概要

東京都は、水質汚濁の重要指標である水生生物の生息状況や富栄養化に伴う環境保全上の問題である赤潮の発生状況及びその水質等を把握する目的で、東京湾調査を実施しています。このたび、平成 16 年度の東京湾調査の結果をまとめましたので、お知らせします。

1 赤潮調査

平成 16 年度の赤潮発生回数は 18 回、発生日数は 86 回と、ここ数年横ばい傾向を示している。赤潮時の優占プランクトンは、珪藻類の割合が 50% 以上であった。

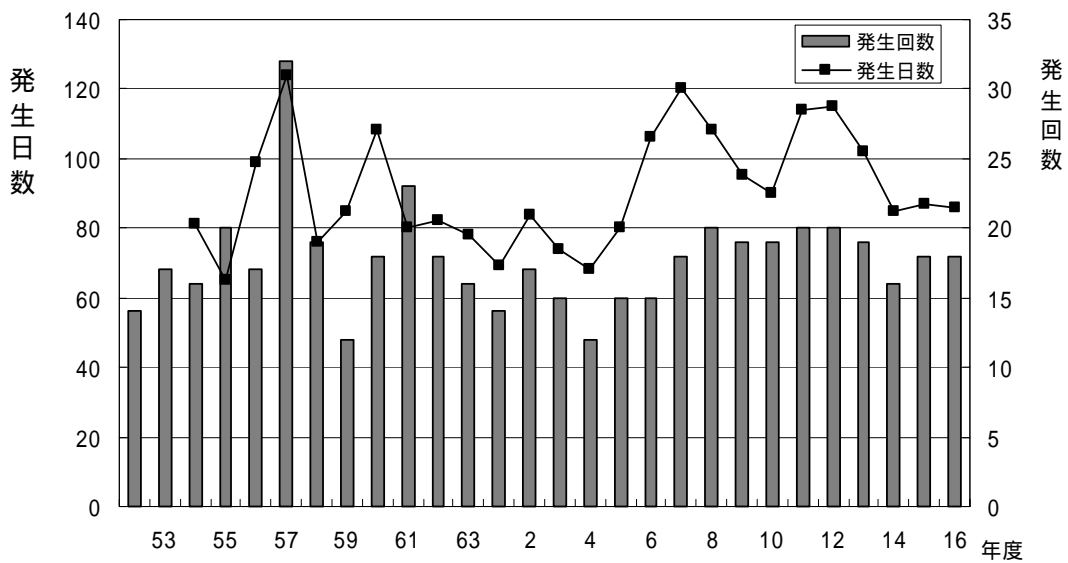


表 赤潮発生日数と発生回数の経年変化



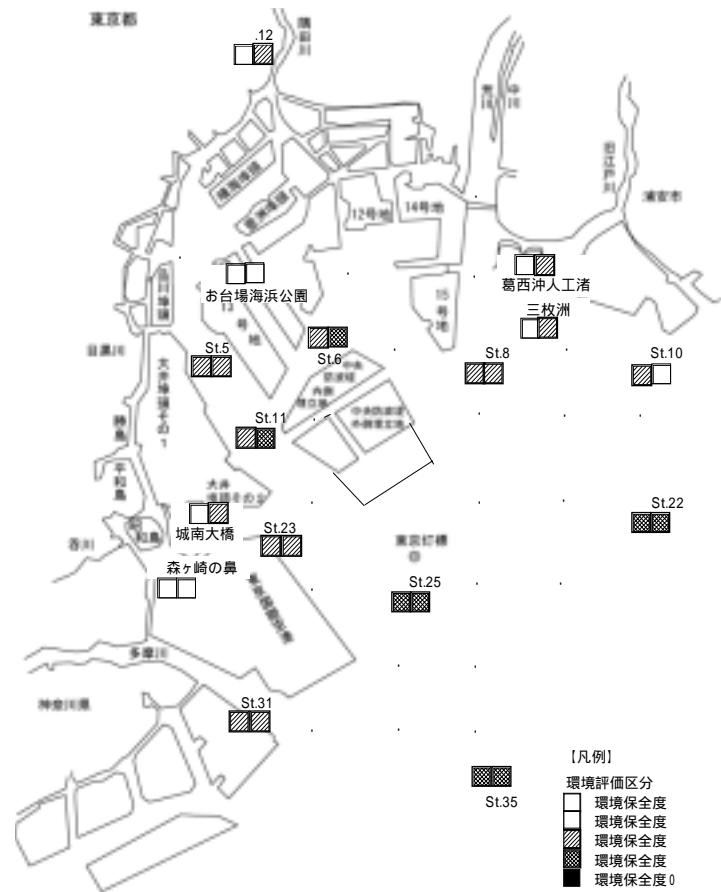
写真 St.6(中央防波堤内側)付近での赤潮：2004年6月28日

2 生物調査

底生生物は4月、9月の調査で合計103種、稚魚類は45種、鳥類は57種が確認された。

底質の状況を七都県市底質評価方法により評価をすると、お台場海浜公園で環境保全度（環境が良く保全されている）であり、干潟、河口及び浅海の地点が内湾の地点に比べて評価が高い傾向が継続していた。

右図
東京湾における底生生物等による底質評価結果



3 トピックス（青潮）

8月に羽田沖で青潮が発生した。この地点で青潮が把握されたのは、今回が初めてであるが、これは気温の急降下に引き続き生じた風速10mを越す南西の風により湧昇流が生じたためと考えられた。



撮影：国土交通省東京港湾事務所

写真 羽田沖の青潮：2004年8月18日

問い合わせ先

東京都環境局自然環境部水環境課東京湾係

直通 03 - 5388 - 3459（都庁内線42 - 625）